

小学生〔低学年〕向け



『あしたはきっと』

デイヴ・エガーズ／文 レイン・スミス／絵 青山南／訳
BL出版 ¥1,600(税別)

「あしたはきっと、空がみえるよ。」「あしたはきっと、おいしいものがたべられるよ。」「あしたはきっと…」絵本に登場する男の子と一緒に明日のことを想像しよう。わくわくした気持ちになれる、一日の終わりに読みたい絵本。



『いっぽんのきのえだ』

コンスタンス・アンダーソン／作 千葉茂樹／訳
ほるぷ出版 ¥1,600(税別)

森の動物たちへ1本の木の枝がバトンのように渡っていく。時にはスプーンとして、また別の時には巢の材料や遊び道具として使われる木の枝。親子で自然の不思議や動物たちの生活を想像しながら楽しめる色鮮やかな絵本。



『おおゆき』

最上一平／作 加藤休ミ／絵
鈴木出版 ¥1,400(税別)

大晦日の大雪の日のお話。雪でたくさんの車が立ち往生した。ゆうきとだいき兄弟の家族や町の人は、食べる物やトイレを手配し、困っている人々を助ける。人々の優しい心、助けあう心を描いた心温まる絵本。



『きみひろくん』

いとうみく／作 中田いくみ／絵
くもん出版 ¥1,100(税別)

かけっこも二重飛びも、何でもできる優等生のきみひろくんは僕にだけ嘘をつく。「ないしょだよ」の言葉とともに、徐々に築かれていく二人の友情を描く。子どもの抱える家族への思い、悩みを優しい言葉で紡いだ一冊。



『このままじゃ学校にいけません』

ベン・ブラッシュアーズ／文 エリザベス・パーグラント／絵 福本友美子／訳
犀の工房 ¥1,600(税別)

授業で当てられたが答えられない。意地悪をした子と喧嘩して怒られた。エディはママに嫌なことばかり続く学校に行きたくない、という気持ちを動物に例えて一生懸命話す。現代に生きる子どもの繊細さがユーモラスに描かれている絵本。



『しぶがきほしがきあまいかき』

石川えりこ／さく・え
福音館書店 ¥1,100(税別)

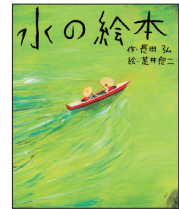
ある秋の日、ちえちゃんはおばあちゃんから柿とりに誘われる。ちえちゃんが取った柿はとても渋かったが、おばあちゃんと一緒に「甘い柿になれ」と魔法をかけてと…。干し柿作りの様子を丁寧に描いた、オレンジ色の挿絵が印象的な一冊。



『チェクポ』

イ・チュニ／ぶん キム・ドンソン／え おおたけきよみ／やく
福音館書店 ¥1,500(税別)

オギは友達の新品の鞆がうらやましくて、自分のチェクポ(風呂敷のような布)がみじめに思えて苛立った。しかし、おばあちゃんが端切れを集め、真心こめて縫ってくれたことを思い出すと…。韓国の文化習習も知ることができる絵本。



『水の絵本』

長田弘／作 荒井良二／絵
講談社 ¥1,450(税別)

形もなく、無色透明の水とはどんなもの? 「さわれるけれどつかめない」。リズムよく心地よい文とダイナミックな絵によって壮大さや透明感が表現され、水の不思議さ、奥深さを感じることができる一冊。

その他のおすすめの本



『おーい、こちら灯台』

ソフィー・ブラッコール／さく 山口文生／やく 評論社 ¥1,600(税別)

『おうさまのこどもたち』

三浦太郎／作 偕成社 ¥1,400(税別)

『きんぎょびじゅつかん』

松沢陽土／写真 高岡昌江／文 ほるぷ出版 ¥1,500(税別)

『こわいオオカミのはなしをしよう』

ウィリアム・マクリーリー／作 佐竹美保／絵 小宮由／訳 岩波書店 ¥1,500(税別)

『字のないはがき』

向田邦子／原作 角田光代／文 西加奈子／絵 小学館 ¥1,500(税別)

『しょうがっこうがだいすき』

うい／作 えがしらみちこ／絵 学研プラス ¥1,400(税別)

『つらら』

細島雅代／写真 伊地知英信／文 ポプラ社 ¥1,500(税別)

『ドーナツのあなのはなし』

パット・ミラー／文 ヴィンセント・X・キルシュ／絵 金原瑞人／訳 廣済堂あかつき ¥1,600(税別)

『どろだんご、さいた』

中住千春／作 はせがわかこ／絵 フレーベル館 ¥1,100(税別)

『なまえのないねこ』

竹下文子／文 町田尚子／絵 小峰書店 ¥1,500(税別)

『ぼくはなきました』

くすのきしげのり／さく 石井聖岳／え 東洋館出版社 ¥1,300(税別)

『物語たくさんのお月さま』

ジェームズ・サーパー／作 ルイス・スロボドキン／絵 なかがわちひろ／訳 徳間書店 ¥1,700(税別)